

## 令和5年度スマートグリーンハウス展開推進

### スマートグリーンハウスシンポジウム 開催案内

各種データ（需要、環境、植物生育、作業、収量、販売等）を活用し、生産性や収益性の向上を目指す施設園芸（スマートグリーンハウス）の展開推進のため、シンポジウムを会場とオンライン併用で開催いたします。本シンポジウムでは、農林水産省より、みどりの食料システム戦略と施設園芸に関する基調報告を、また施設園芸の若手経営者2名による最新の事例報告を行います。オンライン開催併用により外出に制限のある方、遠方の方にも気軽にご参加いただけます。お申し込み、ご参加をお待ちしています。

【セミナー名称】 令和5年度スマートグリーンハウス展開推進 スマートグリーンハウスシンポジウム

【テーマ】 若手施設園芸経営者による生産性向上の取り組み

【主催】 一般社団法人日本施設園芸協会

【後援】 農林水産省

【日時】 令和5年12月8日（金）13時30分～16時30分頃

【会場】 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り（東京都中央区八丁堀1-9-8）+オンライン

【次第】

- ・13:30-13:35 あいさつ
- ・13:35-14:05 基調報告「みどりの食料システム戦略と施設園芸（仮題）」、農林水産省農産局園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室 課長補佐 羽田碧氏
- ・14:05-14:50 事例報告1「新規就農からのトマト規模拡大と従業員参加による生産管理（仮題）」、（株）細野ファーム 代表取締役 細野晃大氏（岐阜県池田町）
- ・14:50-15:35 事例報告2「大規模イチゴ農場でのGLOBAL G.A.P.取得と農場運営の仕組み作り（仮題）」、赤羽いちご園 農園主 赤羽耕一氏（栃木県宇都宮市）
- ・15:45-16:30 頃 パネルディスカッション 司会：農研機構 野菜花き研究部門 研究推進部長 東出忠桐氏（スマートグリーンハウス検討専門委員会 委員長）



赤羽いちご園 赤羽耕一氏



（株）細野ファーム 細野晃大氏

【参加費】 無料

【定員】 100名（会場）+200名（オンライン）

【お申し込み】 日本施設園芸協会 Web サイトから <https://jgha.com/news/r5sghsymposium/>  
（先着順、12月1日（金）12時締め切り）

【参加対象】 施設園芸生産者、経営者、栽培管理者、並びに研修中の皆様、試験研究機関、行政・普及指導機関、民間企業の皆様

【連絡先】 日本施設園芸協会 スマートグリーンハウスシンポジウム 担当 土屋・石井  
jisedai1 (★) jgha.com (★) を @ に置き換えてください

※内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

※講師プロフィール

【(株) 細野ファーム 代表取締役 細野晃大氏】 <https://hosofarm.com/>

1995年 岐阜県生まれ

2016年 細野ファーム創業 20a 鉄骨ハウスでの水耕トマト栽培を開始

2019年 株式会社細野ファーム設立 韓国製フェンローハウス 20a を建設

2020年 ハイワイヤートマト栽培を開始、直売所細野ファームを開設

2023年 スマートグリーンハウス AWARD2023 大賞受賞

- ・海外品種ミニトマトを中心に10品種以上を栽培、オリジナルブランドとして直売所・生協・量販店・ECへの販売、及びトマトジュース・ソース・ケチャップ等の加工販売を行う。
- ・スマホでのモニタリングと操作に特化した環境制御システム「ポケットファーム」の開発・販売を行う。パート従業員が農場生産管理にも参画するよう、ポケットファームでのデータ共有を進める。
- ・YouTube スマートグリーンハウスチャンネル「[パート従業員中心の組織運営とデータ活用](#)」

【赤羽いちご園 農園主 赤羽耕一氏】 <https://akabaichigo.jp/>

1983年 栃木県生まれ

2018年 父親より経営継承、赤羽いちご園設立

2022年 GLOBAL G.A.P. 認証取得

- ・パイプハウス10棟（60a）で、土耕栽培によりイチゴ3品種の栽培と市場・契約販売、及びいちご加工品（冷凍いちごピューレ、いちご羊羹等）の販売を行う。
- ・ウォーターカーテンによる低コスト生産、点滴灌水とゼロアグリによる省力生産、減農薬への様々な取り組みを行う。
- ・GLOBAL G.A.P.をベースとし、パート従業員を中心とした農場運営の仕組み作りを進める。